

平成 29 年 9 月 29 日

## 事例検討チーム会議録

参加者：秋吉典子さん（ケアセンターすみれ）、小田栄美さん（小国公立病院）、川口薰さん、北里優依さん（阿蘇保健所）、後藤藍さん（小国町包括）、蓮田逸子さん（悠清苑）穴井悠斗さん（南小国町包括）佐藤悠さん（小国社協）、佐藤隆太さん（ファーコス薬局ゆう）、岡本茂洋（小国調剤薬局）

日時場所：平成 29 年 9 月 29 日午後 6 時半 南小国町自然休養村管理センター 1 階会議室

### 1. 8 月の事例検討会について振り返り

参加者アンケートの内容より、進め方、準備の仕方など良かった点、課題がともに多く見えてきた。中でも議論すべき内容がぼやけているとの指摘あり、チーム内で以下の点について意見交換を行った。

#### ① 安心ネットワークの事例検討会の目的・在り方について

問題解決型の事例検討会を行っていくのか、情報共有を目的とした「勉強会」的位置付けを撮るのかの議論を行った。現在の全体会スケジュールに則った開催を続ける場合、緊急性の高い個別ケースに関する検討会を行うことは難しく、「多職種連携」を中心に、地域の医療介護に関わる情報共有の場と位置付けることをチーム内で確認した。

#### ② 事例検討会の進め方について

8 月の検討会で行ったグループワーク形式について、参加者全体の多様な意見を拾い上げることについては一定の成果がみられたものの、今回の事例について、個人を特定した議論が中心になり、多角的な視点からの議論が生まれにくい傾向も見られた。各グループにファシリテーターを配置するにあたり、今後は議論の目的、進め方をより明確に共有して実施する必要がある。

また、今後もグループワーク形式を原則継続していくものの、内容次第ではグループワークにこだわらず、臨機応変に使い分けていくことを確認した。

#### ③ 縁がわ小国さんからのご意見について

アンケートの中で、「小規模多機能から在宅または施設へ繋ぐ時の判断や提案の仕方、提案の時期の判断等が知りたい」とのご意見があり、多職種・施設で連携して取り組む内容なので、今後の事例検討会で取り上げ、安心ネットワーク内の共通理解に繋げるべきとの意見があり、今後、縁がわ小国・高野さんと調整していく予定となった。

### 2. 12 月の事例検討会について

蓮田施設長より悠清苑での看取りについて事例提供をいただくこととなっており、内容としては以下の通り行う予定

#### ① 悠清苑での看取りの流れについて

終末期のケアプラン、関係者の情報共有会議、看取りの実践、偲びのカンファレンスなど

#### ② 看取り事例報告

上記を踏まえて、事例検討ではなく、事例報告を踏まえて「小国郷で最期を迎える」などのテーマでグループワーク、意見交換を行う案が挙がった。

次回打ち合わせ会議予定：11 月の看取りシンポジウム後・下旬に予定